

【一】

問一 漢字検定五級程度の漢字について、よく学習しておくこと。

問二 言葉の修飾被修飾関係に関する問題。指定された語がどの言葉にかかっていくのかを注意して選択する。

問三 慣用句の問題。問題文に書かれた意味を参考に、本文の空欄に入る慣用句を選択する。

問四 登場人物の心情を選ぶ問題。前後の会話文から、なぜその行動に至ったのかを判断する。

問五 記述問題。登場人物がなぜそういったのかの理由を答える。この傍線部以降の会話の流れから考え、事象ではなく理由として成立する答えを作成すること。

問六 接続語の空欄補充問題。前後の論理関係をしっかりと整理し、解答すること。

問七 登場人物の行動についての問題。なぜ「奥歯を噛みしめ」、「言葉を喉に押し戻した」のかという行動の真意を読み取る。前後の会話から、言ってしまった言葉への後悔と、言いかけて喉に押し戻した言葉や感情とは何かを考えて解答することが必要。

問八 指示語の問題。「このほう」が指し示す内容を本文から抜き出す。「このほう」とは具体的に何を指すのか、「この」という指示語が指し示す距離感などを踏まえて解答を探す必要がある。

問九 会話文の並び替え問題。会話の中のキーワードと、本文の中にある言葉をしっかりと読み取り、正確に並び替えることが必要。

問十 慣用句の問題。本文の登場人物の行動を参考にし、慣用句の意味を完成させる問題。そもそも「オウム返し」の慣用句を知らないと解答できない。普段から慣用句について学習しておくことが必要。

問十一 登場人物の心情を問う問題。直後に語られる登場人物の言葉から、指定された文字数でしっかりと解答することが求められる。直後の会話文すべてが解答範囲に入るが、問題文を熟読すると、指定文字数がきちんと書かれている。その条件をしっかりと読むことも必要になる。

問十二 空欄補充の問題。今までの本文の中で、何が話題になっていたかを把握しておかない正しく解答できない。また登場人物が何の目的で、その場所に、どんな思いでいるのかを把握できていないと正答できない。

問十三 状況把握の問題。本文のリード文も参考にしながら、この物語がどういう状況を表しているのかを理解しておくことが必要。

【二】

問一 慣用句の問題。普段から慣用句の学習をしておくこと。

問二 動詞を選ぶ問題。品詞の学習は中学範囲だが、「同じ働きをする言葉」を選ぶことは小学校の学習範囲。

問三 四字熟語の問題。普段から四字熟語を学習しておくこと。